

中小企業景況調査報告書（愛知県概略版）

（平成30年1月～3月期実績、平成30年4月～6月期見通し）

1 県内商工会地区における産業全体景況

すべての指標が悪化したが、下げ幅はわずか































今期の産業全体の景況は、売上額D Iが $\Delta 21.0$ 、採算D Iが $\Delta 18.3$ 、資金繰りD Iが $\Delta 10.3$ となり、対前期比でそれぞれ3.3ポイント、1.7ポイント、1.6ポイント減少し、すべての指標が悪化した。ただ、下げ幅は1から3ポイント程度と小幅にとどまった。

次期は、すべての指標が好転し、特に、売上額D Iが大幅に改善する見通しである。

産業全体の主要3D Iの対前年同期比推移

・売上額D I	$\Delta 21.0$ （対前期比 $\Delta 3.3$ 悪化）	次期予想	$\Delta 11.0$ （対前期比 10.0 好転）
・採算D I	$\Delta 18.3$ （対前期比 $\Delta 1.7$ 悪化）	次期予想	$\Delta 16.0$ （対前期比 2.3 好転）
・資金繰りD I	$\Delta 10.3$ （対前期比 $\Delta 1.6$ 悪化）	次期予想	$\Delta 8.1$ （対前期比 2.2 好転）

産業全体景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
29年4月～6月		$\Delta 9.1$ 		$\Delta 15.7$ 		$\Delta 2.8$ 
29年7月～9月		$\Delta 22.5$ 		$\Delta 22.6$ 		$\Delta 11.4$ 
29年10月～12月		$\Delta 17.7$ 		$\Delta 16.6$ 		$\Delta 8.7$ 
30年1月～3月		$\Delta 21.0$ 		$\Delta 18.3$ 		$\Delta 10.3$ 
30年4月～6月 （見通し）		$\Delta 11.0$ 		$\Delta 16.0$ 		$\Delta 8.1$ 

2 業種別景況

(1) 製造業

製造業は売上額D Iが大幅悪化

製造業では、売上額D Iが $\Delta 24.9$ 、資金繰りD Iが $\Delta 12.2$ となり、対前期比でそれぞれ16.1ポイント、9.0ポイント減少し、悪化に転じた。採算D Iは $\Delta 12.5$ となり、5.7ポイント改善し、2期連続の上昇となった。































前期は、すべての指標が好転したが、今期は、売上額D Iが2ケタのマイナスとなるなど、大幅な数値の悪化が見られた。

次期は、すべての指標が好転、上昇する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I $\Delta 24.9$ (対前期比 $\Delta 16.1$ 悪化) 次期予想 $\Delta 5.8$ (対前期比 19.1 好転)
- ・採算D I $\Delta 12.5$ (対前期比 5.7 上昇) 次期予想 $\Delta 9.4$ (対前期比 3.1 上昇)
- ・資金繰りD I $\Delta 12.2$ (対前期比 $\Delta 9.0$ 悪化) 次期予想 $\Delta 9.1$ (対前期比 3.1 好転)

製造業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
29年 4月～6月		$\Delta 2.9$ 		$\Delta 11.5$ 		0.0 
29年 7月～9月		$\Delta 11.4$ 		$\Delta 29.4$ 		$\Delta 8.8$ 
29年 10月～12月		$\Delta 8.8$ 		$\Delta 18.2$ 		$\Delta 3.2$ 
30年 1月～3月		$\Delta 24.9$ 		$\Delta 12.5$ 		$\Delta 12.2$ 
30年 4月～6月 (見通し)		$\Delta 5.8$ 		$\Delta 9.4$ 		$\Delta 9.1$ 

(2) 建設業

建設業の景況感は上昇気配

建設業では、採算D Iが△20.0、資金繰りD Iが△12.0となり、対前期比でそれぞれ5.0ポイント、4.0ポイント改善し、好転、上昇した。売上額D Iは△25.0となり、対前期比で横這いであった。































前期は、売上額D I、資金繰りD Iとも横這いで下げ止まり感があったが、今期は、上昇気配となった。

次期は、すべての指標が好転、上昇する見通しである。特に売上額D Iの大幅な改善が見込まれる。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △25.0 (対前期比 0.0 横這) 次期予想 △12.5 (対前期比 12.5 好転)
- ・採算D I △20.0 (対前期比 5.0 上昇) 次期予想 △12.5 (対前期比 7.5 上昇)
- ・資金繰りD I △12.0 (対前期比 4.0 好転) 次期予想 △4.1 (対前期比 7.9 上昇)

建設業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
29年4月～6月		△12.5 		△16.7 		△13.1 
29年7月～9月		△25.0 		△29.2 		△16.0 
29年10月～12月		△25.0 		△25.0 		△16.0 
30年1月～3月		△25.0 		△20.0 		△12.0 
30年4月～6月 (見通し)		△12.5 		△12.5 		△4.1 

(3) 小売業

小売業は売上額D Iが大幅改善

小売業では、売上額D Iが $\Delta 26.1$ となり、対前期比で9.4ポイント改善し、2期連続で上昇した。採算D Iは $\Delta 27.0$ 、資金繰りD Iは $\Delta 14.9$ となり、対前期比でそれぞれ5.7ポイント、0.3ポイント減少し、悪化に転じた。































前期は、採算D Iが大幅に改善したが、今期は、悪化に転じた。売上額D Iに大幅な改善がみられた。

次期は、すべての指標が悪化、低下する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I $\Delta 26.1$ (対前期比 9.4 上昇) 次期予想 $\Delta 34.8$ (対前期比 $\Delta 8.7$ 悪化)
- ・採算D I $\Delta 27.0$ (対前期比 $\Delta 5.7$ 悪化) 次期予想 $\Delta 31.9$ (対前期比 $\Delta 4.9$ 低下)
- ・資金繰りD I $\Delta 14.9$ (対前期比 $\Delta 0.3$ 悪化) 次期予想 $\Delta 19.2$ (対前期比 $\Delta 4.3$ 低下)

小売業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
29年4月～6月		$\Delta 29.1$ 		$\Delta 30.6$ 		$\Delta 8.2$ 
29年7月～9月		$\Delta 40.8$ 		$\Delta 32.6$ 		$\Delta 20.8$ 
29年10月～12月		$\Delta 35.5$ 		$\Delta 21.3$ 		$\Delta 14.6$ 
30年1月～3月		$\Delta 26.1$ 		$\Delta 27.0$ 		$\Delta 14.9$ 
30年4月～6月 (見通し)		$\Delta 34.8$ 		$\Delta 31.9$ 		$\Delta 19.2$ 

(4) サービス業

サービス業はすべての指標が悪化

サービス業では、売上額D Iが△14.3、採算D Iが△14.3、資金繰りD Iが△5.8となり、対前期比でそれぞれ7.1ポイント、4.3ポイント、1.5ポイント減少し、悪化に転じた。































前期は、売上額D I、資金繰りD Iが好転したが、今期は、すべての指標が悪化した。

次期は、すべての指標が好転する見通しであり、特に売上額D Iは大幅な改善が見込まれる。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △14.3 (対前期比 △7.1 悪化) 次期予想 2.9 (対前期比 17.2 好転)
- ・採 算D I △14.3 (対前期比 △4.3 悪化) 次期予想 △9.1 (対前期比 5.2 好転)
- ・資金繰りD I △5.8 (対前期比 △1.5 悪化) 次期予想 △1.5 (対前期比 4.3 好転)

サービス業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
29年4月～6月		2.8 		△7.1 		2.9 
29年7月～9月		△14.3 		△10.0 		△4.4 
29年10月～12月		△7.2 		△10.0 		△4.3 
30年1月～3月		△14.3 		△14.3 		△5.8 
30年4月～6月 (見通し)		2.9 		△9.1 		△1.5 

3 設備投資の状況

	今期実施		来期計画	
	実施企業割合	主な投資内容	計画企業割合	主な投資内容
製造業	14.7%	生産設備、車両運搬具 OA機器	5.9%	工場建物、生産設備
建設業	4.3%	車両運搬具	4.0%	車両運搬具
小売業	8.5%	販売設備、付帯施設	8.3%	販売設備、車両運搬具 OA機器、福利厚生施設
サービス業	12.9%	土地、建物、サービス 車両運搬具、付帯施設 OA機器、その他	8.6%	建物、サービス 付帯施設、OA機器

4 経営上の問題点

業種	順位	問題点の内容	割合
製造業	1位	需要の停滞	27.6%
	2位	製品（加工）単価の低下、上昇難	17.2%
従業員の確保難			
建設業	1位	民間需要の停滞	21.4%
	2位	請負単価の低下、上昇難	14.3%
		下請業者の確保難	
官公需要の停滞			
小売業	1位	購買力の他地域への流出	19.5%
		需要の停滞	
	3位	大型店・中型店の進出による競争の激化	17.1%
サービス業	1位	利用者ニーズの変化	21.2%
	2位	需要の停滞	19.2%
	3位	店舗施設の狭隘・老朽化	13.5%

中小企業景況調査について

1 調査目的

この調査は、四半期毎に、全国商工会連合会が行う中小企業景況調査から愛知県内商工会地区における経済動向等に関する情報の分析を行い、効果的な経営支援の実施ならびに事業活動の参考とすることを目的とする。

2 調査要領

(1) 調査対象時期

平成30年1月から3月の第4四半期を対象とし、調査時点は平成30年3月1日。





(2) 調査対象企業

愛知県内12商工会地区内180企業。(内訳：製造業35企業、建設業25企業、小売業49企業、サービス業71企業)。

(3) 各調査項目の数字及び記号の説明

本報告書中のD Iとは、景気動向指数と呼ばれるもので、各調査項目についての増加(上昇、好転)企業割合から減少(低下、悪化)企業割合を差し引いた数値。

この数値と記号の関係については、下記のとおり

 雨 △100.0～△60.1	 曇 △ 60.0～△20.1	 薄曇 △ 20.0～20.0	 晴れ 20.1～60.0	 快晴 60.1～100.0
---	---	---	---	--

平成30年3月29日作成

愛知県商工会連合会 広域経営支援センター

TEL : 052-562-0041